

一般国道307号 (山城大橋)

やましろおおはし
(城陽市奈島～京田辺市草内)

一般国道307号は、滋賀県彦根市から宇治田原町を経由して大阪府枚方市に至る幹線道路であり、第二京阪道路や京奈和自動車道等と接続する京都府南部地域の重要な東西軸を形成し、第2次緊急輸送道路としての役割も担っています。

山城大橋は、当該路線において一級河川木津川を渡河する橋ですが、耐震性能が不十分であるため、南海トラフ地震などの大地震が発生した際、路面に大きな段差が生じないようにする等の対策を講じることで、緊急輸送道路としての信頼性の向上を図るものです。

令和2年度は、橋梁耐震工事を実施します。

◎事業概要

全体計画	R1までの実績	R2計画
事業期間：R元～ 事業延長：0.54km(橋長) 幅員：14.0(22.5)m 総事業費：約6億円	事業概要：詳細設計 事業費：0.5億円	事業概要：橋梁耐震工事 事業費：0.2億円

◎事業効果

- 耐震化対策により、南海トラフ地震等の大地震が発生した際の通行性を確保します。
- 第2次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。

平面図

現況写真



橋梁一般図

